

公民科（公共）学習指導案

指導者

- 1 履修単位数 2単位
- 2 実施日時 令和7（2025）年10月22日（水） 第7時限
- 3 学 級 207HR（40名）
- 4 使用教科書 『公共』（東京書籍）
- 5 単元（題材）名 民主政治と政治参加

6 単元（題材）設定の理由

<生徒観>

社会の諸課題について考察を深める際に使用する概念の理解が進み、それらと中学校社会科「公民」及び総合的な探究の時間で得た課題意識を関連付けながら、地域の課題解決に向けて多様な視点から意見を出すことができている。本単元では、地方自治、統治機構と各国の政治体制、民主政治における選挙制度を学ぶ。民主的な社会の実現に向けて主権者に求められる知識や態度について考えることを通して、主体的な社会参画へ向けての実践的意欲を高める契機としたい。

<教材観>

単元全体を通して、民主政治の仕組みと社会参画の在り方を学ぶ。前回の〇〇〇議会議員選挙の選挙公報を分析、吟味することを通して、まちづくりにおいて重視したい道徳的価値や、めざしたい社会像を描かせ、11月に行われる〇〇〇長、〇〇〇議会議員選挙を契機として、地元に通う高校生が地域の政治に関心をもち、主権者としての自覚を深めることをめざす。

<指導観>

令和7年11月に〇〇〇長、〇〇〇議会議員選挙が行われる。生徒を対象に実施したアンケートでは「18歳になれば投票に行く」と答えた生徒が約80%いる一方で、不安な点としては「誰に投票していいかわからない」と答えた生徒の割合が高かった。候補者が投げかける施策案を多面的な視点から比較、吟味させることで、「どのような〇〇市になってほしいか」についてイメージを描かせ、その実現に向けて主体的に選択・判断・行動をなそうとする意欲を育みたい。

7 単元（題材）の目標

公共的な空間における概念や理論などを活用して思索を深め、考察したことを説明したり対話したりする力を養う。めざしたい社会像や重視したい価値や理念に関する自覚を促し、社会課題の解決に向けた合意形成の在り方と主体的な社会参画の意義について考察する。これらの学習を通して、自らが社会を形成する主体であることを自覚し、主体的に社会参画できる力を身につける。

単元を貫く問い 地域の課題を解決するために、私たちができることは何だろうか。

8 単元（題材）の評価規準

知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・	・現実社会の諸課題の解決に向け	・国家及び社会の形成者として、より

判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、主権者として選択・判断・行動するために必要となる情報を目的に応じて整理・活用している。	て、選択・判断の手掛かりとなる考え方や、公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断している。 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	よい社会の実現を視野に、現代の諸課題と自己の在り方を結びつけ、主体的に解決しようとしている。
--	--	--

9 指導計画 単元名 民主政治と政治参加 全8時間

第一次 民主政治と地方自治・・・2時間【○知、●態】

第二次 統治機構－国会、内閣、世界の政治体制・・・3時間【○知、●思】

第三次 政治参加と選挙・・・3時間【○知、○思、○態】

第1時 選挙制度と課題【○知、○思】

第2時 政党と利益集団、メディアと世論【○思、○態】

第3時 課題解決にむけて【○思、○態】(本時)

単元の指導計画 (○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

時程	学習活動	評価の観点			評価規準等
		知	思	態	
第一次 2時間	【単元を貫く問い】 「地域の課題を解決するために、わたしたちにできることは何だろうか。」				
	【第一次の問い】 「民主政治における地方自治の特徴と意義は何か」				
	<ul style="list-style-type: none"> 単元を貫く問いを確認し、第一次では地方自治の特徴を理解することを通して民主社会のあり方について学び、政治参加に向けた本単元の意義と位置づけを確認する。 地方自治の仕組みと制度的な特徴を理解する。 	○			<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">(評価資料) : ワークシート</div> <ul style="list-style-type: none"> ●単元を貫く問いに対する答えを予想しながら、課題解決への見通しを立てている。(態度) ○地方自治が二元代表制の性格をもつこと、直接民主制的な制度を取り入れていることを理解している。(知識・技能)

<p>第二次 2時間</p>	<p>【第二次の問い】 「議院内閣制と大統領制の違いは何か。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次の問いを確認し、予測を立てる。 ・日本における統治機構（国会、内閣）についてそれぞれの権限や、立法府と行政府の関係性について理解する。 ・世界の政治体制について学び、政策実行力、意思決定に国民の声が反映されやすいか否か等を指標とし、その特徴を比較する。 	<p>○</p> <p>●</p>	<p>(評価資料)：ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三権分立をどのようなかたちで実現しようとしているのか、自分なりの言葉で記述している。 (知識・技能) ●政治体制の特徴を踏まえ、それぞれの優れている点について説明している。 (思考・判断・表現)
<p>第三次 3時間 ★ 本時</p>	<p>【第三次の問い】 「投票行動に必要な視点や情報とは何か。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三次の問いを確認し、選挙制度の仕組みや、メディアと世論の関係性等について学び、投票行動の在り方について考える。 ・前回行われた○○○議会議員選挙の選挙公報を用いて、政策や候補者の比較をすることを通して、望ましい社会像を描き、その実現に向けて主体的に参加するための自らの役割について認識する。 ・地域に通う高校生として、11月に行われる○○○長選挙、○○○議会議員選挙をどのように捉えるか考えさせる。 	<p>○</p> <p>○</p>	<p>(評価資料)：ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ○選挙制度の特徴や課題、メディアの情報が世論に与える影響について理解している。 (知識・技能) ○選挙公報から候補者がめざそうとしている社会像や大切にしている道徳的価値を探り、自分の価値観とすり合わせて考えようとしている。 (態度) ○これまでの学習を踏まえ、政治参加の意義とその具体的方法について、自己の社会生活の向上と、地域の課題の解決に関わらせて考え、記述する事ができている。 (思考・判断・表現)

10 本時の指導目標

選挙公報の読み取りを通して、めざしたい社会像や、重視したい価値観に意識的に目を向けさせ、主権者として自らの意思に基づいて政治参加していく自覚を促す。

11 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
導入 5分	<p>【単元を貫く問い】 「地域の課題を解決するために、わたしたちにできることは何だろうか。」</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> 政治参加意識に関するアンケート結果を共有し、本時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 参画意欲が高い一方で、投票先を選ぶことに壁を感じている傾向があることに目を向けさせる。 		
展開 10分	<p>【本時の問い】 「どのように投票先を選択すべきか」</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> 自民党総裁選の予想と結果を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 議院内閣制における首相の選出方法を復習させ、地方自治における首長の選出方法との違いを確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 首相の指名が議決されるまでの過程を理解し、記述している。 (知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述
展開 25分	<ul style="list-style-type: none"> 選挙公報を参考に、候補者がめざそうとしている社会像や重視している価値観を比較する。 Google スライドを活用し、グループで意見交換を行いグループとしての意見を座標軸上に位置づけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世代間の公平性や妥当性、実現可能性などを指標に、座標軸上に配置させる。 意見交換を通して見方や考え方の幅が広がるよう、個々のワークシートを持ち寄り、なぜその位置に配置したのかなどを話し合うよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 選挙公報から候補者がめざそうとしている社会像や大切にしている道徳的価値を探り、自分の価値観とすり合わせて考えようとしている。 (態度) 	
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を踏まえ、11月の〇〇〇長選挙、〇〇〇議会議員選挙を地域に通う高校生として、どのように捉え、関わるか考え、意見をまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時での学びを活かされる場面を想起しやすいよう、ワークシートに考察の流れを示し、意見のまとめを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習で得た気づきをもとに、政治参加の意義とその具体的方法について、自己の社会生活の向上と、地域の課題の解決に関わらせて考え、記述する事ができている。 (思考・判断・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述

12 評価の目安と目標実現のための手立て

A	十分満足できる	座標軸の項目の意味を適確に理解しており、比較、整理した選挙公報上の情報を候補者の特色がより掴みやすいように座標軸上に配置することができている。また、自身の政治参加の在り方について、キャリアステージを見据えた長期的な視点で捉えることができているなど、政治参加への意欲と、その意義の理解に質的な高まりが見られる。
B	おおむね満足できる	座標軸の項目の意味を自分なりに解釈し、選挙公報上の情報を座標軸上に整理している。また、自身の政治参加の在り方と生活の向上や地域の課題解決に関連付け、その実現にむけた具体的方法を考察している。
C	Bを満たさない生徒への手立て	座標軸の項目の理解及び、情報の整理が難しい生徒に対しては、「今の自分に関わる問題か、将来の自分に関わる問題か」や「どのくらいの人（年齢・職・数）が対象になりそうか」など平易な表現で伝える。多様な社会参画の方法について、思い浮かばない生徒に対しては、教科書60ページを振り返らせ、高校生としてどのように政治に関わることができるのか考えるよう助言する。